

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 8年 1月 28日

協議会名: 芳賀・宇都宮地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
泉タクシー(株)	区域運行:国本地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児: 無料)	・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・更新時の利用登録申請書を送る際には、利用者の興味が湧くような色使いや理解しやすい表現を使った案内書を送付し、積極的なPR活動を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・運行カレンダーや臨時運行のチラシ、広報誌などを作成し、地区市民センターにおいて掲示することで、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.6人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
泉タクシー(株)	区域運行:篠井地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児: 無料)	・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードや運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.5人であった。 ・後期高齢化率20.90%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、20.69%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・利用登録世帯率が後期高齢化率を下回っていることから、主要な利用層である高齢者に対する普及が不十分であると考えられるため、高齢者をはじめとした利用登録の増加に向けたPR活動を積極的に実施し、実利用を拡大させていく。
泉タクシー(株)	区域運行:富屋地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児: 無料)	・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域行事日に合わせた利用促進チラシの作成や利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードの配布など利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.8人であった。 ・後期高齢化率25.49%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、27.40%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	・利用登録率・後期高齢化率がともに高い地区であり、固定の利用者による通院利用が中心となっているため、高齢者を中心とした利用促進などに取り組んでいく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・引き続き、利用促進に取り組むことで利用者の定着を図るとともに、利用方法や予約配車システムの便利なサービス等について自治会回覧等による周知を行うことで、高齢世帯を中心に新規利用者の獲得を図っていく。

<p>泉タクシー㈱</p>	<p>区域運行:上河内地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・PR活動の実施や、年4回発行の地域広報誌にて特集ページを設けるなどの利用促進を図った。 ・梵天の湯と氏家駅の行き来に限り地域外の方も利用可とする取組により、運行効率を維持しながら、利用者数の獲得を目指した。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>G 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.5人であった。 ・後期高齢化率16.00%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、13.01%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・目的施設にバス停留所の追加をしていることから、公共交通の乗り継ぎについて、「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで、利用者数の獲得を図っていく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・利用登録世帯率が後期高齢化率を下回っていることから、主要な利用層である高齢者に対する普及が不十分であると考えられるため、高齢者をはじめとした利用登録の増加に向けたPR活動を積極的に実施し、実利用を拡大させていく。</p>
<p>泉タクシー㈱</p>	<p>区域運行:平石地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児:無料)</p>	<p>・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙を地区内に配布するなど、理解促進を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.0人であった。 【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につなげるよう、利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
<p>泉タクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 陽東タクシー㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:石井地区(一部) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:9時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙で地区内に周知するなど、理解促進を図った。 ・地域のイベントにおいて、地域内交通のブース出展やクイズ大会などを実施し、地域内交通の周知を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.4人であった。 【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・新規の利用登録が見られるとともに、利用者数も増加しているが、乗車率が未だ低いことから、新たな利用者の掘り起こしに努めるとともに、利用の定着につなげるよう利用促進策を検討する。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:横川地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域のイベントにおいて、地域内交通のブースを出展し、自治会未加入世帯も含めた利用者の拡大に向けたPR活動を実施したほか、ポイントカードの地域独自の利用促進策を実施するなど、利用促進を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用もみられ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。</p>

<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:河内地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児: 無料)</p>	<p>・利用登録の際は、高齢者等交通弱者に地区市民センターまでお越しいただかなくても、単位自会長を窓口として登録できるルールを定着させるため、「利用登録申請マニュアル」や「地域内交通Q&Aチラシ」を作成し、自治会長会議や自治会回覧を活用した配布を行うなど、周知啓発を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用もみられ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:豊郷地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児: 無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域内交通と地域住民をつなぐ役割を担う推進員に向けてガイドブックを作成し、利用促進を図った。 ・PR活動の実施や地域行事日に合わせて運行を行うなど利用促進を図った。 ・特に、運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.9人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:清原南部地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円, 未就学児: 無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域の行事に合わせた「臨時運行」を実施することで、利便性の向上に加え、新たな利用者の拡大を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。 【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につながるよう、利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月15日

協議会名：	足利市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
足利中央観光バス株式会社	足利市路線バス 小俣線・松田線・行道線・富田線 ・おでかけループ 運賃 大人（中学生以上）：210円 小人（小学生）：100円 幼児：無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳 提示の方：100円 いきいきバスポート提示の方：100円	・公民館における生涯学習の 各種講座でバスの乗り方教室 を実施 ・中橋架け替え工事に伴いダイ イヤと運行ルートの大幅変更 が行われたが、交通会議の場 で新たな運行形態の議論が 行われたことにより、大きな混 乱もなく運行ができた。	A 事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。 B	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点が多かった。 全体的な利用者数の減少は中橋工事に伴うダイヤおよび運行ルート変 更、運転手の労働時間規制に関する対応により便の統合を行ったことに起 因すると思われる。また、収支率の悪化は諸経費の上昇に伴う委託金額 増によるものであり、やむを得ないものとする。 ・利用者数（令和7年度時点到達目標利用者数） （路線）（目標）（前年度）（実績） 小俣線 39,000人以上 32,724人 29,561人 松田線 28,000人以上 27,505人 25,903人 行道線 28,000人以上 27,576人 26,837人 富田線 34,000人以上 37,577人 36,929人 ループ 1,060人以上 1,273人 1,941人 ・収支率（前年実績＋1Pt以上） （路線）（前年実績）（当年実績） 小俣線 15. 2Pt 13. 0Pt 松田線 15. 8Pt 13. 8Pt 行道線 20. 6Pt 19. 6Pt 富田線 19. 4Pt 20. 0Pt ループ 9. 9Pt 9. 4Pt	令和6年8月に改訂した地域公共 交通計画に基づき、新中橋開通 後のダイヤや運行ルートの設定 について検討を重ねるとともに、 都市の将来像を見据えて、利便 性や運行効率を考慮した路線改 編やダイヤ編成を検討していく必 要がある。
足利タクシー株式会社	足利市路線バス 山辺線 運賃 大人（中学生以上）：210円 小人（小学生）：100円 幼児：無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳 提示の方：100円 いきいきバスポート提示の方：100円	・公民館における生涯学習の 各種講座でバスの乗り方教室 を実施 ・中橋架け替え工事に伴いダイ イヤと運行ルートの大幅変更 が行われたが、交通会議の場 で新たな運行形態の議論が 行われたことにより、大きな混 乱もなく運行ができた。	A 事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。 B	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 デマンド運行の利用者数減少は便数の削減によるもの、収支率の悪化は 諸経費の上昇に伴う委託金額増によるものであり、いずれもやむを得ない と考える。 ・利用者数（令和7年度時点到達目標利用者数） （路線）（目標）（前年度）（実績） 山辺線 9,200人以上 9,573人 9,767人 （うちデマンド1,060人以上 1,009人 547人） ・収支率（前年実績＋1Pt以上） （路線）（前年実績）（当年実績） 山辺線 11. 9Pt 10. 8Pt	令和6年8月に改訂した地域公共 交通計画に基づき、新中橋開通 後のダイヤや運行ルートの設定 について検討を重ねるとともに、 都市の将来像を見据えて、利便 性や運行効率を考慮した路線改 編やダイヤ編成を検討していく必 要がある。
関東自動車株式会社	足利市路線バス 御厨線・名草線 運賃 大人（中学生以上）：210円 小人（小学生）：100円 幼児：無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳 提示の方：100円 いきいきバスポート提示の方：100円	・公民館における生涯学習の 各種講座でバスの乗り方教室 を実施 ・中橋架け替え工事に伴いダイ イヤと運行ルートの大幅変更 が行われたが、交通会議の場 で新たな運行形態の議論が 行われたことにより、大きな混 乱もなく運行ができた。	A 事業が計画に位置づけられた とおり、適切に実施された。 B	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 収支率の悪化は諸経費の上昇に伴う委託金額増によるものであり、やむを 得ないものとする。 ・利用者数（令和7年度時点到達目標利用者数） （路線）（目標）（前年度）（実績） 御厨線 14,000人以上 13,859人 14,496人 名草線 17,000人以上 18,142人 18,207人 ・収支率（前年実績＋1Pt以上） （路線）（前年実績）（当年実績） 御厨線 9. 1Pt 10. 1Pt 名草線 15. 2Pt 11. 4Pt	令和6年8月に改訂した地域公共 交通計画に基づき、新中橋開通 後のダイヤや運行ルートの設定 について検討を重ねるとともに、 都市の将来像を見据えて、利便 性や運行効率を考慮した路線改 編やダイヤ編成を検討していく必 要がある。

地方運輸局等における 二次評価結果 （関東運輸局）	バスの乗り方教室により利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。 路線の再編にあたっては、民間路線バスとコミュニティバスの役割分担にも留意し、地域全体として最適なネットワークとなるよう取り組むことに期待したい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名:	栃木市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
千代田タクシー有限会社 栃木合同タクシー株式会社 有限会社大平タクシー 藤岡タクシー株式会社 有限会社都賀タクシー 株式会社新交通 岩舟タクシー株式会社 安全タクシー有限会社	デマンド交通「蔵タク」 営業区域:北部エリア・南部エ リア 運行日:月曜～金曜(祝日・ 12/29～1/3を除く) 運行時間帯:8時～16時 運賃:400円	・データの活用により移動需要 を把握し効率的な運行に繋げ ていくべきとの評価について は、デマンド交通の乗継運賃に ついて、乗車データや聴き取り 調査の結果から見直しに着手 した。また、大学との連携によ る乗車データの分析に着手し た。 ・生活様式に合わせ住民にとっ て分かりやすい周知を行うべき との評価については、運転免 許証を返納した市民に対し、警 察と連携して市の運転免許証 自主返納支援制度の周知を行 い、申請によりデマンド交通と コミュニティバスの共通乗車券 を交付し、移動の足の確保とデ マンド交通の利用促進を行っ た。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	C 事業が計画に位置付けら れた目標を達成できなかった。 収支率 目標:12.2% 実績:11.1% 利用者数 目標:255人/日 実績:162人/日	・乗車データの活用により、利 便性と効率性の高いデマンド 交通について検討を進め、策 定作業中である第2次地域公 共交通計画に位置づけていく。 ・引き続き運転免許証自主返 納支援制度により、デマンド交 通の主な利用者である高齢者 の利用を促す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	運転免許証自主返納へデマンド交通とコミュニティバスの共通乗車券を交付により、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価で きる。デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月20日

協議会名: 佐野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 犬伏線 系統: 佐野駅～佐野新都市バスターミナル (下り9.7km 上り10.3km) 運行回数: 平日5回/日 土休日5回/日 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、バスロケーションシステムを導入した。 ・長期休暇に合わせて、小・中・高校生ワンコイン乗車制度のチラシを学校へ配布した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・一日当たりの利用者数 【目標】71人→【実績】78.8人 ・収支率 【目標】35.0%→【実績】38.7% 通勤・通学の利用や日常生活の移動需要の伸び、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・効率的な運行ダイヤへの見直しを行い、利便性向上を図る。
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 運動公園循環線 系統: 佐野駅～運動公園～佐野駅 (循環15.5km) 運行回数: 平日9回/日 土休日7回/日 運賃: 310円(均一運賃) ※車両減価償却費補助活用(ノンステップバス1両)	・交通モードに応じた利便性向上策として、バスロケーションシステムを導入した。 ・長期休暇に合わせて、小・中・高校生ワンコイン乗車制度のチラシを学校へ配布した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・一日当たりの利用者数 【目標】109人→【実績】113.1人 ・収支率 【目標】40.0%→【実績】42.8% 通勤・通学の利用や日常生活の移動需要の伸び、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・効率的な運行ダイヤへの見直しを行い、利便性向上を図る。
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 田沼葛生線(運動公園経由) 系統: 佐野駅～葛生駅南バス回転場 (下り16.9km 上り17.4km) 運行回数: 平日2回/日 土休日0回/日 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、バスロケーションシステムを導入した。 ・長期休暇に合わせて、小・中・高校生ワンコイン乗車制度のチラシを学校へ配布した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・一日当たりの利用者数 【目標】65人→【実績】69.9人 ・収支率 【目標】44.0%→【実績】49.2% 通勤・通学の利用や日常生活の移動需要の伸び、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものと考えられる。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・効率的な運行ダイヤへの見直しを行い、利便性向上を図る。
ジェイアールバス関東(株)	コミュニティバス「さーのって号」 田沼葛生線(道の駅どまんかたぬま経由) 系統: 佐野駅～葛生駅南バス回転場 (下り17.8km 上り17.7km) 運行回数: 平日6回/日 土休日7回/日 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、バスロケーションシステムを導入した。 ・長期休暇に合わせて、小・中・高校生ワンコイン乗車制度のチラシを学校へ配布した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日当たりの利用者数 【目標】59人→【実績】58.7人 ・収支率 【目標】20.0%→【実績】12.8% 利用者数については、日常生活の移動需要の伸び、小・中・高校生ワンコインバス等の利用促進策が利用者数増加につながったものの、目標値は達成できなかった。収支率については、運行距離が長く、運行回数も多いことから、運行経費が高くなってしまうため、目標未達成となった。	・引き続きバスの乗り方教室等で周知し、利用促進を図る。 ・効率的な運行ダイヤへの見直しを行い、利便性向上を図る。

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
佐野交通㈱	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 葛生エリア 営業区域: 葛生地区 運行日: 月曜～土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯: 7時～17時 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、乗降場所の追加や予約受付時間を乗車時間の「1時間前まで」から「30分前まで」に変更した。 ・デマンド交通運行エリアの町会等を対象にバスの乗り方教室を開催し、開催地域に合わせた内容の資料を作成してデマンド交通の周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日当たりの利用者数 【目標】25人→【実績】22.3人 ・収支率 【目標】10.0%→【実績】6.8% バスの乗り方教室等の周知活動を実施したものの、R6年度の一日あたりの利用者数(23.3人)から減少し、目標値にも満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。
佐野合同自動車㈱	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 田沼エリア 営業区域: 田沼地区 運行日: 月曜～土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯: 7時～18時 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、乗降場所の追加や予約受付時間を乗車時間の「1時間前まで」から「30分前まで」に変更した。 ・デマンド交通運行エリアの町会等を対象にバスの乗り方教室を開催し、開催地域に合わせた内容の資料を作成してデマンド交通の周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日当たりの利用者数 【目標】30人→【実績】27.9人 ・収支率 【目標】10.0%→【実績】5.9% バスの乗り方教室等の周知活動により、R6年度の一日あたりの利用者数(27人)から増加したものの、目標値に満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。
赤見タクシー(有)	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 赤見エリア 営業区域: 赤見地区 運行日: 月曜～土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯: 10時～17時 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、乗降場所の追加や予約受付時間を乗車時間の「1時間前まで」から「30分前まで」に変更した。 ・デマンド交通運行エリアの町会等を対象にバスの乗り方教室を開催し、開催地域に合わせた内容の資料を作成してデマンド交通の周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日当たりの利用者数 【目標】10人→【実績】6.4人 ・収支率 【目標】10.0%→【実績】4.0% バスの乗り方教室等の周知活動により、R6年度の一日あたりの利用者数(5.4人)から増加したものの、目標値に満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。
旭タクシー(株)	コミュニティバス「さーのって号」 デマンド交通 佐野南部エリア 営業区域: 吾妻地区・植野地区の一部 運行日: 火曜・木曜・土曜(1/1～1/3は運休) 運行時間帯: 9時～17時 運賃: 310円(均一運賃)	・交通モードに応じた利便性向上策として、乗降場所の追加や予約受付時間を乗車時間の「1時間前まで」から「30分前まで」に変更した。 ・デマンド交通運行エリアの町会等を対象にバスの乗り方教室を開催し、開催地域に合わせた内容の資料を作成してデマンド交通の周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C ・一日当たりの利用者数 【目標】10人→【実績】5.1人 ・収支率 【目標】10.0%→【実績】2.7% バスの乗り方教室等の周知活動を実施したものの、R6年度の一日あたりの利用者数(5.6人)から減少し、目標値にも満たなかった。	・引き続きバスの乗り方教室等でデマンド交通を周知し、利用促進を図る。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>前回結果を踏まえ、学校の長期休暇へ合わせたチラシ配布やデマンド交通運行エリア毎に乗り方教室により、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。</p> <p>収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。</p>
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名： 鹿沼市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
鹿沼合同タクシー	栗野地域 平成24年4月から、栗野地区、 粕尾地区、永野地区、清洲地 区の各デマンドを一本化 運行回数 9,480回／年 運賃 200円～800円	路線バスとの乗り継ぎなどを、 利用状況をみながら運行した。	A 計画どおりに事業は適切に 実施された。	B 収支率 目標値 10.0% 6年度実績 4.7% 7年度実績 5.1% 分析：医療機関や温泉施設な ど幅広く利用されている。利用 者は減少したものの、運賃収 入は増加しており、収支率にも 改善が見られる。	・事業は計画通りに実施し、収 支率は改善しているものの、目 標には達しなかった。 ・利用者数の増加策と効率的 な運行の検討が必要。
鹿沼合同タクシー	北押原・南押原 北大飼地域 運行開始：平成22年11月 運行回数 3,861回／年 運賃 200円～600円	高齢者を対象としたバスの乗り 方教室を実施し、利用の促進 を図った。また、地域を限定し、 利用実態調査のためのアン ケートを実施した。	A 計画どおりに事業は適切に 実施された。	A 収支率 目標値 10.0% 6年度実績 13.5% 7年度実績 13.8% 分析：高齢者を対象としたバス の乗り方教室等、利用促進の 取り組みにより収支率の改善 が見られたと考えられる。	・計画通りに実施し、目標に達 した。収支率の改善もみられ た。 ・効率的な運行及び利便性向 上のため、運行範囲や目的地 の再検討が必要。
鹿沼合同タクシー	松原地区 運行開始：平成23年11月 運行回数 2,970回／年 運賃200円～400円	路線バスとの乗り継ぎなどを、 利用状況をみながら運行した。	A 計画どおりに事業は適切に 実施された。	B 収支率 目標値 10.0% 6年度実績 7.0% 7年度実績 7.2% 分析：75歳以上を対象としたシル バーバスの発行等、継続し た利用促進事業が高齢化も伴 い、収支率の改善が見られた と考えられる。	・事業は計画通りに実施し、収 支率は改善しているものの、目 標に達しなかった。 ・路線バスとの連携を強化し、 効率的な運行の検討が必要。
栃木ロイヤル交通	板荷・菊沢地区 運行開始：平成22年11月 運行回数 1,782回／年 運賃200円～600円	地域内の移動に課題を感じて いる人、関心がある人を対象に 「移動のお困りごと交流会」を 実施した。	A 計画どおりに事業は適切に 実施された。	B 収支率 目標値 10.0% 6年度実績 6.2% 7年度実績 6.0% 分析：医療機関や商業施設な ど幅広く利用されている。	・事業は計画通りに実施したも の、収支率が下がり、目標にも達 しなかった。 ・運行範囲が広いため、利便性向 上のために、地区ごとの運行時間 の設定に係る検討が必要。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

高齢者を対象とした乗り方教室や移動のお困りごと交流会により、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。
収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 日光市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	「③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況」	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日光線通運(株)	日光市デマンド交通 ・運行地域: 小来川地区・猪倉地区・落合地区(1系統) ・運行日: 毎日 ・運行時間帯: 7～19時 ・運賃: 1回300円 ・車両及び台数: 10人乗りワゴン車3台	8～9月に「デマンドバス利用促進事業」(期間中に新規登録された方先着50名に限り無料乗車券[300円分×10枚]を配布し、10回まで無料でデマンドバスに乗車可能とする。)を実施し、新規利用者の獲得とデマンドバスの更なる利用促進を図った。 実施にあたっては、前回と同様に、市広報紙、市ホームページ掲載のほか、自治会回覧による案内を行い周知活動を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 年間利用者数(R7までに) 目標: 1,200人(小来川地区)、1,800人(猪倉地区)、700人(落合地区)、計3,700人 実績: 3,743人(全地区計) 事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 昨年度より利用者が増加し、医療機関や商業施設利用など生活を支える移動手段として認知され、利用されている。	利便性のさらなる向上と、より効率的な運行を実現するため、令和6年10月に地区間の移動制限と時刻表を撤廃し、AIシステムを導入した。また、電話だけでなくアプリからの予約を可能とするほか、フルデマンドでの運行を可能とすることで、利便性と満足度の向上を図った。 その上で、引き続き今後も、既存のタクシーや路線バスを活用することを促し、市内全域において公共交通の利用促進を進める。 公共交通利用の意識高揚に向けては、地域での集まりなどに出向いて説明を行うほか、市広報紙や市ホームページなどを活用し、機会を捉えて情報発信に取り組んでいく。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

無料乗車券の配布を行うデマンドバス利用促進事業に取り組まれ、年間利用者数の目標を達成されたことを評価する。情報発信について、生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
友井タクシー有限会社	羽川線 系統: 小山駅西口～小金井駅 西口 他1系統 距離: 往路13.1km 復路13.1km 運行回数: 平日10回／日、休日 9回／日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 276人 実績: 281人 分析: 扶桑団地を中心に高齢者の利用が特に多い路線である。80歳以上無料乗車を継続していることから、利用者数が増加したと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
友井タクシー有限会社	間々田線 系統: 小山駅西口～間々田駅 西口 他1系統 距離: 往路10.8km 復路11.0km 運行回数: 平日10回／日、休日 9回／日 運賃: 大人200円	自治会、いきいきふれあいセンター等に出向き、乗り方教室を実施した。 令和6年4月適用の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に基づき、高岳線、城東中久喜線、新市民病院線、間々田東西線、城南・新市民病院線について、運転士の休息時間、運転時間等の見直しを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 205人 実績: 207.9人 分析: 沿線に所在するふれあい健康センターの活動により、利用者増加に繋がったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	高岳線 系統: 小山駅東口～東光高岳 北 距離: 往路5.2km 復路5.1km 運行回数: 全日28回／日 運賃: 大人200円	令和6年4月から実施されている、高齢者の外出支援等を目的とした、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を令和7年4月から1年延長とした。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 518人 実績: 612.5人 分析: 沿線に所在する小山高専に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数が増加(R6: 303枚、R7: 364枚)したことから、通学利用者が増えたと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	城東中久喜線 系統: 小山駅東口～高専正門 距離: 往路6.5km 復路6.7km 運行回数: 平日14回／土日祝 日13回／日 運賃: 大人200円		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 236人 実績: 238.7人 分析: 沿線に所在する小山高専に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数が増加(R6: 138枚、R7: 157枚)したことから、通学利用者が増えたものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大山タクシー有限会社	土塔平成通り線 系統: 小山駅東口～横倉公民館 距離: 往路6.9km 復路7.6km 運行回数: 全日13回／日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおーバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 193人 実績: 220.1人 分析: 宅地開発が進み沿線人口が増加しているため、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	大谷中央線 系統: 小山駅東口～大谷公民館～小山駅東口 他2系統 距離: 循環13.0km 運行回数: 全日13回／日 運賃: 大人200円	自治会、いきいきふれあいセンター等に出向き、乗り方教室を実施した。 令和6年4月適用の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に基づき、高岳線、城東中久喜線、新市民病院線、間々田東西線、城南・新市民病院線について、運転士の休息時間、運転時間等の見直しを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 285人 実績: 312.3人 分析: 宅地開発が進み沿線人口が増加しているため、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
株式会社小山中央観光バス	思川駅線 系統: 小山駅西口～思川駅～小山駅西口 距離: 循環14.3km 運行回数: 全日8回／日 運賃: 大人200円	令和6年4月から実施されている、高齢者の外出支援等を目的とした、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を令和7年4月から1年延長とした。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 75人 実績: 88人 分析: 沿線に所在する高校に利用促進のパンフレットを配布したところ、通学定期券発売枚数がほぼ横ばい(R6: 63枚、R7: 52枚)であることと、沿線店舗への買い物利用があることで増加したと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
株式会社小山中央観光バス	道の駅線 系統: 小山駅西口～道の駅～小山駅西口 他1系統 距離: 循環15.9km 運行回数: 全日5.5回／日 運賃: 大人200円		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 52人 実績: 70.8人 分析: いちごの里などの観光施設への利用があることから、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
友井タクシー有限会社	新市民病院線 系統: 小山駅西口～新市民病院 距離: 往路7.5km 復路7.5km 運行回数: 平日14回／日、休日12回／日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおーバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 179人 実績: 191.9人 分析: ひととのやヴィレッジを中心に沿線人口が増加しているため、利用者増加に繋がったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
株式会社小山中央観光バス	間々田東西線 系統: 光南病院～間々田駅東口～新市民病院 他2系統 距離: 往路10.8km 復路10.9km 運行回数: 全日22回／日 運賃: 大人200円	自治会、いきいきふれあいセンター等に出向き、乗り方教室を実施した。 令和6年4月適用の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に基づき、高岳線、城東中久喜線、新市民病院線、間々田東西線、城南・新市民病院線について、運転士の休息時間、運転時間等の見直しを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 71人 実績: 117.9人 分析: 昨年度実施した利用動向に応じた運行経路の変更及び増便を行ったことで、利用者増加につながったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
関東自動車株式会社	城南循環線 系統: 小山駅東口～城南公園入口～小山駅東口 他1系統 距離: 循環10.8km 運行回数: 全日26回／日 運賃: 大人200円	令和6年4月から実施されている、高齢者の外出支援等を目的とした、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を令和7年4月から1年延長とした。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 242人 実績: 360.9人 分析: 昨年度実施した利用動向に応じた運行経路の変更及び増便を行ったことで、利用者増加につながったと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	渡良瀬ライン 系統: 小山駅西口～ラムサークル渡良瀬遊水地駅 他1系統 距離: 往路21.3km 復路21.1km 運行回数: 全日7回／日 運賃: 大人200円		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 29人 実績: 63.7人 分析: 昨年度実施した利用動向に応じた運行経路の変更及び増便を行ったことで、間々田小学校の児童が登校で利用していただけるようになった。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社小山中央観光バス	ハーヴェストウォーク線 系統: 小山駅西口～小山温泉 思川 距離: 往路3.1km 復路3.1km 運行回数: 平日30回／日 土休日39回／日 運賃: 大人200円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでおバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。 自治会、いきいきふれあいセンター等に出向き、乗り方教室を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの利用者数 目標: 757人 実績: 792.2人 分析: おやまゆうえんハーヴェストウォークや小山思川温泉などの商業施設への利用があることから、利用者増加に繋がったものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
関東自動車株式会社	城南・新市民病院線 系統: 小山駅東口～新市民病院 距離: 往路5.8km 復路5.7km 運行回数: 平日10回／日、土日祝日8.5回／日 運賃: 大人200円	令和6年4月適用の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に基づき、高岳線、城東中久喜線、新市民病院線、間々田東西線、城南・新市民病院線について、運転士の休息時間、運転時間等の見直しを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標: 110人 実績: 107.6人 分析: 昨年度に路線名および一部運行経路を変更し、新市民病院への移動ニーズに対応したところであるが、沿線住民の周知不足により利用者が伸び悩んだものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	デマンドバス桑・絹エリア 営業区域: 桑・絹地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円	令和6年4月から実施されている、高齢者の外出支援等を目的とした、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を令和7年4月から1年延長とした。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標: 9.2人 実績: 13.1人 分析: いきいきふれあい事業の活動により、ふれあいセンター利用の方が乗車したのと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、商業施設、企業、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	デマンドバス大谷中南部・間々田東部エリア 営業区域: 大谷中南部・間々田東部地区 運行日: 月曜～金曜 運行時間帯: 8時～17時 運賃: 大人300円		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標: 5.9人 実績: 7.4人 分析: エリア内を運行する土塔平成通り線、大谷中央線の利用者増加に伴い、転移したのと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に出向き、PRを行う。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 小山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大山タクシー有限会社	デマンドバス豊田エリア 営業区域:豊田地区 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:大人300円	前年度、利用促進のパンフレットを配布したところ、利用者数が増加したことから、引き続き沿線の学校に配布を行った。また、広告代理店にご協力いただき、広告費用のみでオーバスの路線図・時刻表を作成し、新聞折込にて周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標:6.9人 実績:7.7人 分析:いきいきふれあい事業の活動により、ふれあいセンター利用の方が乗車したものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	デマンドバス中・穂積エリア 営業区域:中・穂積地区 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:大人300円	自治会、いきいきふれあいセンター等に出向き、乗り方教室を実施した。 令和6年4月適用の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に基づき、高岳線、城東中久喜線、新市民病院線、間々田東西線、城南・新市民病院線について、運転士の休息時間、運転時間等の見直しを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 1日当たりの運行便数 目標:1.6人 実績:1.3人 分析:いきいきふれあい事業の活動により、ふれあいセンター利用の方が乗車し、同時時間帯の利用者が多く、利用者増加が伸び悩んだ。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に出向き、PRを行う。
大山タクシー有限会社	デマンドバス寒川・生井エリア 営業区域:寒川・生井地区 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:大人300円	令和6年4月から実施されている、高齢者の外出支援等を目的とした、市内在住の80歳以上の市民を対象に運賃を無料にする実証実験を令和7年4月から1年延長とした。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 1日当たりの運行便数 目標:2.1人 実績:2.2人 分析:いきいきふれあい事業の活動により、ふれあいセンター利用の方が乗車したものと考えられる。	利用者のさらなる増加に向けて、沿線の学校、自治会等に出向き、PRを行う。

【凡例】A:目標の100%以上 B:目標の85～100% C:目標の85%未満

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	一部系統で目標未達成となつてはいるものの、学校へのパンフレット配布や新聞による周知活動や、高齢者を対象とした運賃無償の実証実験により利用促進に取り組み、概ね目標を達成されていることは評価できる。 将来にわたって公共交通の利用者となり得る子ども・若者世代の公共交通利用を促進し、公共交通を利用する習慣の形成につなげることを期待したい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 8年 1月23日

協議会名： 真岡市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
芳南交通(株) 潮田タクシー(株) (有)二宮タクシー	デマンドタクシー「いちごタクシー」 運行地域:真岡市全域 運行日:月曜日～金曜日 運行時間帯:9:00～17:00 運賃:300円(小学生200円)	・利用者や交通事業者等と協働した事業である公共交通サポーター制度を引き続き実施し、安定した運行と公共交通への意識醸成を図る。 ⇒真岡市工業団地管理協会の総会で周知活動を実施した。 個人・法人合計で16口の協賛を得た。 ・地域座談会や学校での乗り方教室、小学生向け夏休み無料乗車キャンペーンを引き続き実施し、利用促進を図る。 ⇒もおかベリー号が運行している六軒地区にて公共交通説明会を実施し、意見交換を行った。 また、小学校でのバスの乗り方教室や夏休み無料乗車キャンペーンを実施し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 ①一日あたりの乗車人数 70.0人/日 ②収支率 9.4% 【実績】 ①72.5人/日 ②5.3% ・免許返納無料乗車券や、障がい者割引実施後の障がい者乗車数の増加などが要因となり、収支率は記載の結果となった。	・継続的な広報活動(広報誌・ラジオ・TV等)を行い、市民への周知を図る。 ・地域や団体向けの説明会や、バスの乗り方教室、小学生向けのバスの乗り方教室を実施し、利用促進を図る。
大越観光バス(株)	コミュニティバス「いちごバス」 系統:真岡(市内循環線:24.3km) 運行回数:18回/日 運賃:100円	・SNSやテレビ、ラジオ等を活用し、市民へ広く周知し、公共交通利用のきっかけづくりを実施する。 ⇒いちごタクシーや小学生対象の夏休み無料乗車キャンペーンについて、テレビやラジオで広く周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 【目標】 ①一日あたりの乗車人数 125.0人/日 ②収支率 11.4% 【実績】 ①172.4人/日 ②11.8% ・テレビやラジオ等での周知や、地域での説明会、また市民に少しずつ定着してきたことにより、利用者も増加している。	・AI配車システムによる配車の効率化や、バスルートの再検討などを行い、利便性の向上を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	地域座談会や小学校での乗り方教室、SNS等を利用した周知活動により若い人達の利用の習慣づけに取り組まれていることを評価する。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月17日

協議会名: 大田原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山和タクシー有限会社	野崎・佐久山地域定路線	【利用促進】 ・市営バス路線・時刻表を12,000部作成し、配布している。 ・市ホームページ・広報に情報を発信している。 ・時刻検索サイト「ナビタイム」「ジョルダン」へ情報提供し、利用者が調べやすい環境を形成している。	○事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 【事業内容】 公共交通空白地域においては、湯津上・黒羽地域区域運行が地域の移動手段として浸透している。 また、公共交通不便地域においては、親園・野崎・佐久山地域区域運行が地域の移動手段として浸透しており、地域の移動手段の選択肢が増えた。	A 【利用者一人当たりの運行経費】 目標値:4,158円／人 実績値:2,073円／人 達成状況:高校生の通学需要の増加により、1人あたりの運行経費も前年度比70%と削減でき、目標が達成できた。	【高齢者を対象に】 本市では自家用車での移動が主な交通手段であるが、高齢者の危険運転防止や、認知症予防を念頭に、市営バスを積極的に利用して、自らが「慣れる」、また「乗る」ことで利用率をアップさせ公共交通を存続させることの大切さを理解してもらえるよう普及活動を行う。また、生活支援体制整備事業等の高齢福祉部局の事業に、公共交通担当が参加し、地域の移動ニーズの把握や市民生活に寄り添った移動サービスを検討します。
	親園・野崎・佐久山地域区域運行	・路線バスとデマンド交通を乗り継ぐ利用者の運賃を減免する「乗継割引」を継続し実施している。 ・デマンド交通の利用料金において、市営バス及び関東バスの定期券、並びに市営バス回数券の適用を継続して実施している。 ・高齢者が運転免許証を自主返納した際、無料で乗車できる「無料乗車証」を発行している。 ・デマンド交通乗車体験ツアーを社会福祉協議会と連携し開催したことで、新規の利用者を獲得した。 ・安心生活見守り事業の会議や自治会の会議等へ参加し、デマンド交通の利用のしかた等の出前講座を開催した。		C 【利用者一人当たりの運行経費】 親園・野崎・佐久山地域区域運行 目標値:2,910円／人 実績値:3,054円／人 達成状況:出前講座やデマンド交通乗車体験ツアーの開催等により、前年度比120%と利用者増が図れた。1人あたりの運行経費も前年度比87%と削減できたが、目標は達成できなかった。	【観光客を対象に】 市営バスについて、広域バスマップ及び観光マップを活用し、地域外の居住者へ観光周遊を周知して利用促進につなげる。また、デマンド交通の乗り継ぎを併せた利用促進を引き続き図っていく。
	湯津上・黒羽地域区域運行	・デマンド交通乗車体験ツアーを社会福祉協議会と連携し開催したことで、新規の利用者を獲得した。 ・安心生活見守り事業の会議や自治会の会議等へ参加し、デマンド交通の利用のしかた等の出前講座を開催した。 ・デマンド交通の利用のしかたのリーフレットやWEBによる登録と予約のチラシを作成し、配布した。 【利便性向上】 ・デマンド配車システムを導入し、利用者は予約アプリから24時間予約が可能となっている。		C 【利用者一人当たりの運行経費】 目標値:1,829円／人 実績値:2,048円／人 達成状況:出前講座やデマンド交通乗車体験ツアーを開催し、利用者増が図るとともに、デマンド配車システムによるコスト削減が図られたものの、利用者減となり、目標を達成できなかった。	【中学生や高校生を対象に】 中学生や高校生を対象に出前講座やモビリティーマネジメントなどを実施し、利用促進を図っていく。 【運行経費削減】 デマンド交通において、地域の需要に対して、より利用状況に応じた運行を検討し、経費抑制を図る。またデマンド配車システムによる最適な組み合わせで運行経路の計算によるコスト削減を図っていく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	デマンド交通乗車体験ツアーやデマンド交通の利用のしかた出前講座等の、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。将来にわたって公共交通の利用者となり得る子ども・若者世代の公共交通利用を促進し、公共交通を利用する習慣の形成につなげることを期待したい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 矢板市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(有)矢板ツーリング	<p>矢板市デマンド交通</p> <p>営業区域: 矢板市内(コリーナ 矢板・玉田地区を除く)</p> <p>運行日: 月曜～土曜</p> <p>運行時間帯: 8時～17時</p> <p>運賃: 【大人(中学生以上)】 片道500円/往復800円 【小学生・高齢者(65歳以上)・ 障がい者】 片道300円/往復500円 【ともなりパス所持者】 片道200円/往復300円 【未就学児】無料</p>	<p>・デマンド交通の目的地一覧表 を作成し、利用者に配布してい る。</p> <p>・市ホームページ・広報に情報 を発信している。</p> <p>・65歳以上の市民が運転免許 証を自主返納した際、割引料 金で乗車できる「ともなりパス 65」及び75歳以上の市民が割 引料金で乗車できる「ともなり パス75」を発行している。</p> <p>・後期高齢者医療被保険証を 送付する際にともなりパスのチ ランを同封してもらい、周知及 び申請を促している。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。</p>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられ た目標を達成できていない 点があった。</p> <p>目標: ・公共交通の利用者数 (1日当たり)80人以上 ・広告等掲示申込数 10件/年以上</p> <p>実績: 公共交通の利用者数 (1日当たり) 91.2人以上 ・広告等掲示申込件数 4件/年</p> <p>分析: 利用者数については、利用 者増加のための取組みを 行った結果により、目標を 達成できたと考えられる。 広告等掲示申込件数につ いては届かなかった。</p>	<p>・公共交通の利用者数につ いては、目標値を上回って達成 できているが、引き続き、利用者 増加のための取組みを実施し ていく。</p> <p>・広告等掲示申込件数につ いては、市内の移動は自家用車 が多いことや、公共交通利用 者の大半を高齢者が占めるこ とから、広告を出すメリットが限 定的であり、新規の広告等掲 示申込件数が伸び悩んでい る。広告媒体としての魅力も向 上させるため、公共交通の利 便性の向上を目指していくと ともに、広報誌やホームペー ジ等を活用して広く広告掲載を 呼びかけていくことで需要喚起を 図る。</p>
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>後期高齢者医療被保険証の送付にチランを同封する等の利用促進を行い、1日あたり利用者数の目標を達成されたことを評価する。 デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。</p>				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月5日

協議会名： さくら市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
さくらタクシー有限会社	コンタ号・つういんコンタ号 旧喜連川町の全域及び黒須病院(旧氏家町域)	<p>・利用者の更なる利便性向上のため、AI技術を活用した運行システムを令和7年2月から導入。</p> <p>・HPで広報活動を行ったほか、公共交通マップを作成し、鉄道駅や公共施設など市内各施設に設置し、利用促進を図った。</p> <p>・夏休みを中心とした小中学生の利用促進のため、市内全小中学生にチラシを配布。</p> <p>・利用者の利便性向上のため、LINEを利用したWEB予約の講座を実施。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <p>○コンタ号</p> <p>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を1,000円以下</p> <p>・収支率17%以上</p> <p>・サービスに対する満足度：75%以上。</p> <p>○つういんコンタ号</p> <p>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を2,100円以下</p> <p>・収支率を16%以上</p> <p>・サービスに対する満足度：75%以上</p> <p>【実績】</p> <p>○コンタ号</p> <p>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額：1,798.60円</p> <p>・収支率13.44%</p> <p>・サービスに対する満足度：47.2%</p> <p>○つういんコンタ号</p> <p>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額：2,273.63円</p> <p>・収支率12.9%</p> <p>・サービスに対する満足度：44.5%</p> <p>【分析】</p> <p>いずれの目標も達成できなかった。AIシステムを導入したことにより、公費負担額が増加した。また、システム変更以後で、利用者アンケートを実施していないため、満足度が反映されていない。</p>	<p>・広報紙・HP等による利用促進を更に強める。</p> <p>・デマンド交通の予約方法に関する講座を市民の求めに応じて開催する。</p> <p>・地域公共交通計画を基に、市民の利便性向上に向け、デマンド交通も含めた地域の交通ツールと調整を図る。</p> <p>・利用者の要望に対し、対応が可能な項目を検討する。</p> <p>・令和7年2月よりAIシステムを導入したため、システムや運用を調整しながらより効率のよい運行を目指す。</p> <p>・令和8年4月より、氏家地区指定乗降所にさくら市役所を追加する。</p>

有限会社誠タクシー	うのはな号 旧氏家町の全域	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の更なる利便性向上のため、AI技術を活用した運行システムを令和7年2月から導入。 ・HPで広報活動を行ったほか、公共交通マップを作成し、鉄道駅や公共施設など市内各施設に設置し、利用促進を図った。 ・夏休みを中心とした小中学生の利用促進のため、市内全小中学生にチラシを配布。 ・利用者の利便性向上のため、LINEを利用したWEB予約の講座を実施。 	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を1,500円以下 ・収支率13%以上 ・サービスに対する満足度：60%以上。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1回当たりの利用に対する公費負担額：2,393.74円 ・収支率8.54% ・サービスに対する満足度：24.4% <p>【分析】</p> <p>いずれの目標も達成できなかった。AIシステムを導入したことにより、公費負担額が増加し、収支率低下した。また、システム変更以後で、利用者アンケートを実施していないため、満足度が反映されていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・HP等による利用促進を更に強める。 ・デマンド交通の予約方法に関する講座を市民の求めに応じて開催する。 ・地域公共交通計画を基に、市民の利便性向上に向け、デマンド交通も含めた地域の交通ツールと調整を図る。 ・利用者の要望に対し、対応が可能な項目を検討する。 ・令和7年2月よりAIシステムを導入したため、システムや運用を調整しながらより効率のよい運行を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	利用促進に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。					

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 下野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
石橋タクシー(株)	デマンド交通「おでかけ号」 営業区域: 下野市全域 運行日: 月曜～土曜 運行時間帯: 午前8時～午後6時 運賃: 大人(中学生以上)300円・小学生200円・未就学児無料(ただし、保護者同伴を要する)	令和6年度に利用者が減少したことに伴い、予約のしやすさの改善をすべきとの評価結果を受け、以下の取組を実施した。 ・予約が集中する時間帯に、予約電話がつながりにくいという課題を解決するため、スマホ教室において予約の仕方に焦点を当てたデマンド交通利用講座を実施し、web予約の促進を図った。 ・AI配車システムによる配車を徹底し、効率的な配車を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 【目標】 デマンド交通の1日平均利用者数: 70.3人 【実績】 実績: 65.2人 【分析】 AI配車システムの徹底や、web予約の増加により、昨年度から一定の利用者数の増加が見られた。 1人あたりの移動距離が長くなってきていることから、乗合の割合が低い。	利用者の増加等の一定の成果が見られる一方、予約電話が繋がりにくくなっているという問題も聞かれる。Web予約の促進など更なる利用環境の向上を図る。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

デマンド交通利用講座によりWeb予約の促進を図り、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。
デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年 1月 28日

協議会名: 那須烏山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
烏山合同タクシー(株)	デマンド交通南那須地区 運行区域は、南那須地区全域 及び烏山地区の指定施設(市 役所烏山庁舎、那須南病院、 山あげ会館、烏山台病院、水 道庁舎)	令和3年度に策定した那須烏 山市地域公共交通計画施策 「デマンド交通の運行適正化」 に基づき、令和4年4月に導入 したデマンド交通回数券販売 の継続や、令和7年度における 「参議院議員通常選挙」や「な すから健康マイレージ事業」に おいて回数券を活用した移動 促進事業を実施する等、利用 向上策を展開した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	B 計画通り事業を実施し、 利用者数の増加は見られ たが、利用者数・系統収支 率ともに目標到達は未達成 であった。 運転免許証の自主返納 者の促進及びデマンド交通 を利用したJR烏山線の利 用者数は達成したが、昨年 度につき、商業施設へのア クセス強化が要望されてお り、効率的かつ納得感ある 利用の実現に向け、運行区 域や運行体制の見直し検 討・利用方法の周知・啓発 が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ●収支改善に向けた利用促進策や料金・サービス内容の調査・検討。 ●運行区域の再検討や輸送力強化、運行の効率化に向け、DX技術の導入も視野に、調査・検討を継続 ●利用満足度向上に向けた輸送力強化・サービス内容の充実検討。 ●デマンド交通と福祉タクシー等の役割の明確化・交通弱者に対する公共交通全般の支援策の検討。 ●制度周知の強化・利用案内の充実 ●運転免許の自主返納者を増やすための周知啓発の実施。 ●広域幹線軸である鉄道と、支線系統であるデマンド交通との結節強化に向けた調整。

(株)烏山観光タクシー 烏山合同タクシー(株)	デマンド交通烏山地区 運行区域は、烏山地区全域及び南那須地区の指定施設(市役所南那須庁舎、保健福祉センター、南那須図書館)	令和3年度に策定した那須烏山市地域公共交通計画施策「デマンド交通の運行適正化」に基づき、令和4年4月に導入したデマンド交通回数券販売の継続や、令和7年度における「参議院議員通常選挙」や「なすから健康マイレージ事業」において回数券を活用した移動促進事業を実施する等、利用向上策を展開した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C	計画通り事業を実施したが、利用人数が思うように伸びず、目標の収支率への到達等は未達成であった。 加えて、利用者満足度の改善も達成できず、効率的かつ納得感ある利用の実現に向け、運行区域や運行体制の見直し検討・利用方法の周知・啓発が必要である	<ul style="list-style-type: none"> ●収支改善に向けた利用促進策や料金・サービス内容の調査・検討。 ●運行区域の再検討や輸送力強化、運行の効率化に向け、DX技術の導入も視野に、調査・検討を継続 ●利用満足度向上に向けた輸送力強化・サービス内容の充実検討。 ●デマンド交通と福祉タクシー等の役割の明確化・交通弱者に対する公共交通全般の支援策の検討。 ●制度周知の強化・利用案内の充実 ●運転免許の自主返納者を増やすための周知啓発の実施。 ●広域幹線軸である鉄道と、支線系統であるデマンド交通との結節強化に向けた調整。
----------------------------	--	---	---	-------------------	---	--	---

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	回数券を活用した移動促進事業により、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月29日

協議会名: 上三川町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東交通株式会社	上三川町デマンド交通 名称:「かみたん号」 営業区域:町内全域 町外9施設 運行日:平日 運行時間帯: 8時から18時まで 運賃:大人町内300円 大人町外450円 小学生 150円 未就学児 無料	利用者増加の要因の把握分析 をするべきであるというご指摘 を踏まえ、年代別の利用実績 の推移を調査した。調査の結 果、若年層(10代未満から30 代)の利用が他の年代よりも高 い伸び率で増えていることがわ かった。特に10歳未満の利用 が180パーセントの伸び率であ り、スポーツや塾の送迎など、 ライフスタイルにあわせた使い 方が定着している等の理由が 考えられる。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 目標:15, 200人以上 利用実績:16, 377人 目標:収支率20. 0%以上 実績:15. 2% 分析:利用者数は目標を達 成することができたが、収 支率は達成できなかった。	・令和8年度は土曜実証運行を 行い、町民の利便性と既存公 共交通機関への影響を調査す る。 ・今後もアンケートを実施し、住 民のニーズの把握に努め、必 要に応じ見直すことで、利用者 の評価の改善に繋げる。 ・かみたん号の利用を促すた め、広報などでかみたん号の PRを行っていく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	前回評価結果を受け年代別の利用実態調査に取り組み、利用者数の目標を達成したことは評価できる。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥 当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。					

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 益子町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
七井タクシー	デマンド型交通「ひまわり号」 営業区域:七井地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	・芳賀赤十字病院を利用する町民について、デマンドタクシーと真岡鐵道の連携により通院を可能とする支援を継続したことで、デマンドタクシーの利用登録者の増加にも繋がった。また、真岡鐵道利用券の利用率が上昇し、既存の公共交通機関の利用促進にも寄与した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標: ・利用者50人/日 ・登録者4,096人 実績: ・利用者46.1人/日 ・登録者4,108人	・高齢者や障害者の利用について、福祉・高齢者支援関係課と連携し、引き続き利用者のフォローアップを図る。また、町広報紙やホームページを通じて利用者の増加を図る。
益子タクシー有限公司	デマンド型交通「ひまわり号」 営業区域:益子地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	・前回の「⑥事業の今後の改善点」のなかの高齢者や障害者の利用への周知や一般向けの周知については、町広報紙やホームページへの事業内容の掲載、町内団体に事業説明の講話等を実施することにより、利用者の増加を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 分析: 運行系統ごとの計画は立てておらず、全体目標である利用者50人/日に対して、実績が46.1人/日であった。 平成24年10月の運行開始から、新型コロナウイルスの影響もあって一時利用者は減少したものの、天候などに左右される部分はあるが、地域住民の足として安定した運行ができています。一日の最大は80人、一方で最少は16人という日もあったが、登録者は9月末の時点で4,108人であったため目標は達成された。	・関係各者(予約センター、タクシー会社)と情報交換を行いながら、継続して安定した事業運営をしていく。
新光タクシー有限公司	デマンド型交通「ひまわり号」 営業区域:田野地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	・前回の「⑥事業の今後の改善点」のなかの安定した事業運営については、予約センターのオペレーターと情報交換を密にし、適切な対応を取ることで、トラブルに発展しないよう努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	デマンドタクシーと真岡鐵道の連携により通院の利便性を向上させていることや、利用者への周知活動を行い登録者数の目標を達成されていることは評価できる。 デマンドタクシーの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料4

令和8年1月29日

協議会名: 茂木町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)柏タクシー	デマンド型交通「めぐるくん」 営業区域: 茂木町全域 ○運行日: 平日及び土曜日 (日曜、祝日、年末年始は除く) ○運行時間帯: 1日あたり平日10時間/土曜5時間 7:00-18:00(10h ※内1時間休憩) /9:00-14:00(5h)	実利用者数の減少に伴い、前回の事業評価時において目標の17,500人に対し、実績が15,967人だったことから、利用実績の向上を目指し、年度目標として16,500人を設定した。	A 計画どおり事業は実施された	C 【目標と実績】(目標年度: 令和8年度) ①運行サービスにおける利用者満足度90%以上に対し、82% ②めぐるくんの利用実績22,000人に対し、15,967人 ③めぐるくんの収支率18.0%に対し、10.80% ④公共交通(めぐるくん)に係る負担額28,000千円に対し、28,472千円 【目標を達成できなかった理由】 ①1便減便(アンケート結果から)が要因と考えられる。 ②③町の人口減による、利用者の減少が要因と考えられる。 ④物価・燃料費・人件費等の高騰が大きな要因と思われる。	・75歳以上の運転免許自主返納者への割引制度等拡充及び広報の強化を行い、利用の多い年代である高齢者を車からめぐるくんへの利用転換を促し、新たな需要喚起するとともに、高齢者の安全、安心な生活づくりを図る。 ・平成30年4月より導入した回数券のPR強化や、目的施設追加のPRを引き続き行い、利用者の利便性の向上や需要増を図る。 ・町外施設等への乗り入れ等を検討し、利便性の向上を図る

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	回数券や目的施設追加の周知により、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。
-------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 市貝町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)柏タクシー	デマンド型交通「サシバふれあい号」 営業区域:市貝町全域、芳賀町祖母井地区、芳賀町上延生ロマンの湯、茂木町茂木さとう耳鼻咽喉科クリニック、益子町芦沼青木医院、高根沢町上高根沢ふれあいセンター 運行日:月曜～金曜 祝日及びお盆、年末年始運休 運行時間帯:7時～18時 運賃:300円 こども200円	高齢化による運転免許証自主返納者に本デマンドタクシーの回数券を交付する等、新規利用者の確保、利用頻度の向上に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおりに実施された。	C 利用者数について、38人/日の目標に対し、30人/日であった。 前年度の実績値である29人/日から増加しており、徐々に新型コロナウイルス感染症による影響から回復している傾向が見られた。	生活交通収支率が目標値を下回る状況であるため、デマンドタクシーの周知や、高齢化による運転免許証自主返納者に本デマンドタクシーの回数券を交付する等、制度の周知や新規利用者の確保、利用頻度の向上に努める。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

高齢化による運転免許証自主返納者に回数券の交付を行い、利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。
デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
また、今後取り組まれる新規利用者の確保については、生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 壬生町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
壬生タクシー(有)	【事業名】 壬生町デマンドタクシーみぶまる運行事業 【運行区域】 壬生町全域・ゆうがおパーク(下野市) 【運行日】 月～金(土・日・祝日、年末年始運休) 【運行時間】 8～16時 1時間/便 【運行本数】 1日9便 【運賃】 中学生以上300円、小学生100円、未就学児無料	「住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。」という評価を受け、 ・住民アンケートを実施し、ニーズ等を調査した。 ・全戸配布でデマンドタクシーやコミュニティバスの案内を載せた公共交通案内を配布した。 ・運転免許の自主返納者に対し、デマンドタクシーだけでなく、令和6年10月からコミュニティバス利用券の交付も開始した。 ・1市2町(下野市・上三川町・壬生町)のデマンド相互利用登録を継続し、1枚の申込用紙で各市町のデマンド利用登録を可能としている。	A 事業は計画通り適切に実施された。	目標①(登録者数):達成 登録者数目標7,174人/年に対し、8,113人/年であった。 目標②(利用者数):達成 利用者数目標7,326人/年に対し、9,692人/年であった。 目標③(運転免許自主返納事業利用者数):達成 返納者数目標104人/年に対し、126人/年であった。 分析:運転免許自主返納事業において配布する利用券について、令和6年10月からコミュニティバス分の利用券も配布を開始したことで申請者数が増加し、利用者が増加したと考えられる。	・1市2町のデマンド相互利用登録は、今後も継続し、高齢者だけでなく幅広い世代に利用いただけるよう努める。 ・広報紙・HP等によるデマンドタクシー事業の積極的な周知を行い、新規利用者の獲得に努める。
壬生観光自動車(有)				A	
みどり交通(有)				A	
(株)ティ・エイチ・エス	【事業名】 壬生町コミュニティバスみぶーぶ運行事業 【運行路線】 町内循環線、壬生高線 【運行日】 町内循環線 360日程度/年 壬生高線 209日程度/年 【運行本数】 町内循環線南回り5便、北回り4便 壬生高線 朝4便、夕4便 【運賃】 中学生以上200円、小学生・障がい者100円、未就学児無料 回数券・定期券あり			目標③(運転免許自主返納事業利用者数):達成 返納者数目標104人/年に対し、126人/年であった。 目標④(町内循環線利用者数):達成 利用者数目標5,400人/年に対し、6,516人/年であった。 目標⑤(壬生高線利用者数):達成 利用者数目標17,765人/年に対し、31,198人/年であった。 分析:壬生高線については、定期券の利用者も増えており、学校までの足として定着していると考えられる。	・広報紙・HP等によるコミュニティバス事業の積極的な周知を行い、新規利用者の獲得に努める。 ・収入に関しては、今後車体ラッピング広告による営業外収入を導入し、更なる収入に繋げたい。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	運転免許自主返納者に対しデマンドタクシーに加えコミュニティバスの利用券の交付に取り組み、利用者数や運転免許自主返納事業利用者数を達成されたことを評価する。生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月21日

協議会名: 野木町公共交通活性化会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
・小山合同タクシー(株) ・(有)野木タクシー	【デマンド交通「キラ輪号(愛称)」】 運行区域: 町内全域 運行日: 月曜～金曜(土・日・祝日、お盆: 8月13日～16日、年末年始: 12月29日～1月3日運休) 運行時間帯: 8時～17時 運行本数: 17本(午前8本、午後9本) 運行車両: セダン2台、ワゴン1台 運賃: 利用券(大人[中学生以上]300円、小人[小学生以下]200円、75歳以上200円、3歳未満無料)	・地域公共交通計画PDCAの確認とAI配車システム導入および増車の検討を行った。 ・利用者等が感じたデマンドタクシーに対する不満点を改善するため、タクシー事業者及び業務委託先と打合せや意見交換を行った。 ・運行状況やアンケート結果のHP公開を行った。 ・敬老事業やはたちを祝う会におけるパンフレットの配布を行った。 ・町広報誌において、デマンド特集記事を組み、登録及び利用の促進を図った。 ・住民への公共交通の周知や自家用車からの転換を図るため、モビリティマネジメントの実施に向けた、学校や福祉部局との調整を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 利用者数 (65歳以上) 8,462人 (65歳未満) 1,305人 結果: 利用者数 (65歳以上) 8,680人 (65歳未満) 1,405人	・WEB予約も可能となるAI配車システム導入と増車を行い、効率配車やキャンセル率低下など利便性向上を図る実施計画 中。 ・今後も、アンケート調査により、利用者のニーズ等を把握する。その結果を受け、声の大きい要望かつ効果の大きいものについてはその実現に向けて調整を行う。また登録及び利用の促進を図るため、広報による特集ページの掲載やパンフレット等による周知等を行う。 ・定量的な目標については、さらなるPRや利用者要望に寄り添ったデマンド交通になるように努め、「地域公共交通計画」の中で定めた町内の公共交通の再構築及びよりよいデマンド交通の運行施策について、その効果を加味した目標値を設定し、PDCAを行うものとする。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	交通事業者等との意見交換や広報誌による利用促進を行い、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。 将来にわたって公共交通の利用者となり得る子ども・若者世代の公共交通利用を促進し、公共交通を利用する習慣の形成につなげることを期待したい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年 1月 28日

協議会名: 塩谷町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大新東株式会社	塩谷町デマンド交通「えかんべ号」 営業区域: 塩谷町全域及び一部の町外施設 運行日: 【R6.10～R7.3】月曜～金曜(祝日、お盆、年末年始は除く) 【R7.4～R7.9】月曜～土曜(祝日、お盆、年末年始は除く) 運行時間帯: 【R6.10～R7.3】8時～17時 【R7.4～R7.9】平日6時～20時、土曜6時～18時 運賃: 町内500円、町外800円(小学生、75歳以上高齢者、障害者 町内300円、町外400円・未就学児 無料)	「生活様式に合わせて利用を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい」という助言を受け、高齢者サロン、中学生の入試説明会に出向き、説明会を実施した。説明会では、年代ごとに必要な情報を選別して説明するよう工夫した。いただいた意見や要望を精査し、運行内容の改善に努めていきたい。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成した。 指標①: 1日あたり平均利用人数 ・目標値: 27人/日 ・実績値: 30人/日 指標②利用促進に関する効果的な広報の実施 ・目標値: 2回 ・実績値: 2回 指標③啓発イベントの開催 ・目標値: 7回 ・実績値: 9回	①については、運行時間拡大の効果もあり増加。説明会等で受けた意見を参考に、今後の運行内容の改善を図っていきたい。 ②については、広報誌に限らず、SNSなども活用し、若年層への情報配信を強化したい。 ③については、利用者登録だけでなく実際に利用につながる取り組みを検討していきたい。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	前年の評価を踏まえ、高齢者サロンや学校で必要な情報を絞った説明会に取り組まれたことを評価する。 導入している交通によって町民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年12月22日

協議会名: 那須町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
那須合同自動車株式会社	北部運行区域 (黒田原行き)	「住民へのデマンド交通の理解を深めるような取り組みを行っていることは評価できる。」という前回の事業評価結果を受け、公共交通の維持や利用を考える取り組みとして、那須町バスブックの全戸配布を継続して実施した。また、小学生を対象としたバスの乗り方教室(令和6年10月に1回、令和7年9月に2回)とデマンド型乗合交通出前講座(令和6年10月に1回・11月に1回、令和7年4月に1回)については、昨年よりも多くの回数を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 長期的な利用促進に向け以下の取り組みを実施した。 ①「那須町バスブック」を全戸配布 ②小学生低学年を対象とした「バスの乗り方教室」を企画(令和6年10月に1校、令和7年9月に2校にて開催) ③デマンド型乗合交通出前講座の実施(令和6年10月に1地区、11月に1地区、令和7年4月に1地区で開催)	C (1)年間利用者数9,500人の目標値に対して、本年度の年間利用者数は6,175人であり、目標を達成することができなかった。また前年度(6,469人)と比較しても年間利用者数は減少している。 なお、デマンド型乗合交通については、令和4年3月に策定した那須町地域公共交通計画により、一般タクシーサービスの活用も視野に入れた改善策についても検討し、令和5年10月から令和6年9月にかけて町内中心部の特定の地域にお住まいの方のご自宅と指定目的地間のタクシー料金が定額になる「那須町定額タクシーサービス」の実証運行を行った。登録者を対象に行ったアンケートで、回答者の9割が運行継続を希望したことから、実証運行期間を令和7年3月まで延長し、4月からは本格運行に移行した。 (2)収支率7%の目標値に対して、本年度は3.9%であり、目標を達成することができなかった。 (3)利用者一人当たりの公的資金投入額3,900円/人の目標値に対して、本年度は5,460円/人であり、目標を達成することができなかった。	依然としてコロナ前の利用者数まで回復していない。今後も「移動制約者の日常生活の足の確保」を第一に考え、現在の運行サービスを維持する。長期的な視点の利用促進に向け「バスブックの配布」及び「きつけづくりのイベント」は継続的に実施し、来年度の目標値である年間利用者数9,500人の達成を目指す。また、デマンド型乗合交通については、実利用者数の状況等の詳細な利用実態について把握する。
	北部運行区域 (菅間記念病院行き)				
	北部運行区域 (広谷地行き)				
	南部運行区域 (黒田原行き)				
	南部運行区域 (菅間記念病院行き)				

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

バスの乗り方教室やデマンド型乗合交通出前講座等の利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。
デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名: 那珂川町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社馬頭観光タクシー	<p>運行系統名: 那珂川町デマンドタクシー (通称:なかちゃん号)</p> <p>運行区域: 那珂川町全域 (乗降場所48箇所 町内:47箇所 町外:1箇所)</p> <p>運行日: 月曜日～金曜日</p> <p>運行時間: 7:30～15:30 6便/日 (7:30、9:00、10:30、12:30、 14:00、15:30)</p> <p>運賃: 300円/回</p>	「公共交通マップの作成等、利用促進にあたっては、生活様式に合わせた利用を解説する案内チラシを作成して配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していた」との評価結果を受けて、公共交通ガイドブックを作成し、広報啓発活動による利用促進の取組を実施した。また、民生委員など福祉団体と協力し、利用促進を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】 利用者数:11,000人/年 収支率 :15.3%</p> <p>【実績】 利用者数:7,117人/年 収支率 :9.2%</p> <p>【分析】 前年7,073人と比較して利用者の増加となった。公共交通ガイドブックによる周知活動によりデマンドタクシーが認知され、利用者が増加したが目標値には届かなかった。</p>	<p>・学校部活動の地域移行等に伴う、児童・生徒への利用促進策等を検討する。</p> <p>・デジタル技術などの新しい技術を導入して、利用者の利便性向上や利用促進を図る。</p>

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

公共交通ガイドブックの作成等の利用促進、ニーズの把握に関する取組を継続的に実施していることは評価できる。デマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。